

心のふるさと、愛へ帰ろう。

まだ、あなたの中に、この思いが響いてきていないかもしれません。

ただ、絶えず、どんな時もこの呼び掛けがなされているということは事実なんです。

だから、これから、色々な現象を通して、このメッセージがたくさん人の心にストレートに響いてくる時がやってきます。

形の世界の総崩れと申しましょうか、まさに、すべてが根底からひっくり返るエネルギーが働いてまいります。ということは、人間の心の奥底に眠る闇が噴き出してくるということです。

愛はパワーなんです。愛は本当のパワーなんです。

パワーは、すべてを喜びに帰していく仕事をしていきます。

何が喜びで、何が幸せかということが分からなくなり、見えなくなっ

まった人間の心の深部まで、ズバツと轟とどろいていくような仕事です。

「心のふるさと、愛へ帰ろう。」

力強い呼び掛けは、あなたの中から発信されていきます。

あなたの中から噴き出してくる闇は、みんな、みんな自分達のふるさと、愛へ帰りたいという心からの叫びだからです。

その叫びを、本当に受け止めていけるような人間になっていきましょう。人間復活と申しましたが、それが愛へ帰る大きな第一歩となります。

長い、長い、気の遠くなるような長い時を経て、ようやく、その第一歩を自分の中に踏み出すチャンスが、今のこの時間とご理解ください。

真実に触れた意識達の働きは、これから地球上に様々な現象をもたらしていきます。

異常気象しかり、人間の異常な行動しかり、心の闇の噴き出しは、もはや留まることはありません。

出して、出して、嘔き出して、総崩れの中で、私達は何を叫ぶのでしょうか。神を恐れながら、しかし、神に救いを求め、神のしもべとなってひれ伏してきた人間は、神には何の力もなかった、仏にも何の力もなかったと、最後は神、仏、何とかのパワーをみんな自分の心から放していくようになっていきます。

しかし、そこに辿り着くまでは、それは、それは大変厳しい時間が用意されています。どこまでも、どこまでも闇黒の世界が、想像もできない闇黒の世界が広がっていくんです。

厳しい現象は、愛へ帰りたい、愛へ帰るんだ、愛へ帰ろう、の意識の目覚めを、どんどん起こしていきます。

闇をどんどん押し上げてくる喜びのエネルギーの噴出。

その喜びのエネルギーの存在に、心から気付いて、本当に心で知るまで、闇はどんどん、どんどん嘔き出していくでしょう。

中途半端ではいけません。徹底的に、自分の地獄を見ていく、知っていく必要があるでしょう。

もう十分に地獄は見てきた、知っていると言われる方も、あるかもしれません。

それは確かにそうかもしれませんが、しかし、これからは、これまでとは違います。これまででは、醜悪な地獄絵図の中に自分を落として、落として、さらに落としていくだけでした。全く真つ暗闇の奥底に沈んだままの状態で、その中でのをた打ち回っていただけでした。

しかし、これからは、私達人間は、そこから自らを浮上させていく大きな転機をそれぞれに迎えるのです。

それは、今という時間を境にして、意識の世界に大きな変化があったからです。

意識の流れというものが厳然としてあり、それは肅々として大きな仕事を

成しているとすると目覚めがあったからです。

この世の地獄、これほど醜悪な、愚かしいものはない、辛酸しんさんをなめ尽くしてきた体験、経験は、実は私達の心の奥底に眠っています。

だから、みんな自分の心を見ていくことが嫌なんです。

基本的には、人間は、自分の心を見るということを拒否していきます。

ただ、どんなに拒否しようとも、そして、認めたくない自分の闇の世界であっても、これから、それはしっかりと自分の眼前に展開していきます。

だから、見ざるを得ないんです。そして、認めざるを得ないんです。

「心を見なさい。見ていくんです。しっかりと心を見なさい。」

そんな呼び掛けが自らの中から発信されていきます。

すべての存在が愛だからです。愛でないものは何一つないということ、心で知っていくように、これから現象界は、さらに大きく動いていきます。人

間の心の奥底に眠る深淵しんえんな闇の世界。そこをみんなオープンにしていかなければなりません。洗いざらい出し尽くさなければなりません。

しかし、何も恐れることもなければ、憂うこともありません。

愛という本当の温もり、本当の喜びで、その世界をしっかりと抱き抱え、包み込んでいくように意識の流れは動いてまいります。

愛というエネルギーは確かに存在します。いいえ、本当は闇の世界など存在しませんでした。

みんな、みんな愛だったと目覚めていくために、これからの時間が用意されていることを知っていきましょう。

「はじめに」のところでありました、偉人、賢人、愛の人などどうでもいいんです。

それよりも、地獄に落ちてきた自分に、本当に優しく、どれだけ本当のことを伝えることができるか、心のふるさと、愛を伝えることができるか、そし

て、いかに地獄にあった自分が喜びの自分に蘇よみがえっていくことができるか、本当の自分を取り戻すことができるかということでは。

私達人間はみんな、それを成し得れば、それでいいんです。

私達人間はみんな、そのために、肉体を母にもらってきたんです。

何度も、何度も、自分の地獄と、地獄にいる自分と対面するために。

地獄、地獄と言っていますが、天国がないように、実は地獄などありません。存在しません。

あるのは、自分を知らない、愛を知らない冷たさ、愚かさ、無知、そんな自分の世界です。

それを地獄と言っています。

自分を知らないんです。自分がどんな存在であるか、全く知らずに、いいえ、それどころか、私達人間は、自分を捨て去り、切り捨て、見捨てて、偽物の自分を自分だと思いついてきたんです。これほど愚かなことはないではない

ですか。

しかし、これまで私達は、自分は立派だと、自分は正しいと、人間ほど素晴らしい存在はないと、豪語してきました。

そうしてきた結果、どうですか。

なぜ、いつまでも、いつまでも、戦争をしているんですか。人殺しをしているんですか。

愛する家族、友達を目の前で殺されて、互いに互いを傷つけ合って、なぜ自分達は正しいんですか。

正義を振りかざして人を殺していくんです。何が正義なのでしょうか。

人間は、神と呼びました。神の力を信じてきました。仏の加護があると信じてきました。

それでは、いったい神の力とは何でしょうか。仏の加護とは何でしょうか。本当に神に力があるならば、本当に仏の加護があるならば、なぜいつまでも、



戦火に逃げまどい、貧困に苦しむような生活を続けなければならないのでしようか。

昨今の日本の国においても、異常な事件、事故が次から次へと起こっています。暗いニュースばかりです。そして、異常気象です。

色々な事が、まだまだ起こってくるでしょう。天候は不順になり、生活環境は益々劣化していくでしょう。

そして、人間の心は荒すさんでいく一方です。自分を捨て去った心の中にある闇の部分が、これからさらに露あわになってきます。

膿うみは全部吐き出さなければなりません。人間の心に巣食しんう深淵えんな闇は、目を疑い、耳を疑いたくなるほどのものです。

形の世界の総崩れを、私達人間はみんな体験していかなければならないようになっています。

自分に目覚めていくには、心のふるさと、愛へ目覚めていくには、それこそ、

私達自身が作ってきたものを根底から覆すことが必要だからです。

形の世界の総崩れから、人間の心は何かを学び取っていきます。

「神はあるのか。仏は存在するのか。神、仏が本当にあるならば、なぜこんな阿鼻叫喚あびきょうかんの世界が現実、自分達の前に広がっていくのか。

もしかして、神にも、仏にも、どこそこのパワーにも、本当はこの窮状きゆうじょうを救う力はないのではないか。」

やがて、人間の心の中に、そのような思いが芽生えてきます。

それを、愛のエネルギーは見事に引き出してくれるんです。

「そうだ。そんなものに何のパワーもなかった。」

その事実をしつかりと、はつきりと自分の目の前の体験より心で感じ取り、学び取って、自分の中から、この答えを導き出していくことが、私達人間には絶対に必要です。一人ひとりが自分の中で気付いていくことが絶対に必要なんです。